

【別紙様式】

<p>鳥取県は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施します。</p>			
事業名	第20回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2022開催事業を実施する者に対する支援金の交付		
総事業費 (千円)	34,914千円	交付金関連事業費 (交付対象経費) (千円)	34,914千円
事業概要	<p>①目的 新型コロナウイルス感染症の影響により、文化芸術に触れる催しが減少する中、当該事業の来場者数も感染拡大の影響を受け、令和2年度から激減している。公演・ステージ・ワークショップ等を開催する当該事業の継続を支援し、文化芸術の鑑賞・体験等の機会や発表機会の回復を図る。</p> <p>②交付金を充当する経費・算定根拠 支援金：34,914千円×1事業者 (内訳)メイン事業開催 21,000千円 各地区事業等開催 13,914千円</p> <p>③交付対象 1) 交付対象者 鳥取県総合芸術文化祭実行委員会 2) 交付対象者の選定理由・選定方法 当該事業は県内全域を開催地として、県民が公演・ステージイベント・展示・ワークショップ等の多様な文化芸術に触れ、自ら参加する機会を数多く創出する事業であるが、実施主体である鳥取県総合芸術文化祭実行委員会は、各地域の文化活動者や有識者などで構成され、各地域の課題等を踏まえた効果的な事業実施が可能な唯一の団体であることから、同実行委員会を交付対象者として支援金を交付する。</p> <p>④期待される効果 新型コロナウイルス感染症の影響下においても、鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2022のより一層の充実が図られることにより、県民が文化芸術に触れ、また参加する機会を創出できる。</p>		
新型コロナウイルス感染症への対応（経済対策）との関係	<p>鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2021開催事業(令和3年度実施)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う事業中止や事業規模縮小等の影響により、来場者数が大幅に減少（コロナ前の令和元年度と比べ約半分と激減）した。また、当該事業以外でも感染拡大の影響を受け、文化芸術イベントの中止や規模縮小が相次いでおり、県民の文化芸術に触れる機会は減っている状況にある。</p> <p>鳥取県総合芸術文化祭実行委員会を交付対象者として支援金を交付し、文化芸術活動の継続及び充実を図る本事業は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けている地域の文化芸術活動への支援を通じた地方創生に資する事業に該当するものであり、地方創生臨時交付金を活用することが妥当である。</p>		